

リーディングDXスクール事業【実践事例一覧】

大分県教育委員会

学校名	教育利用・校務利用	実践事例の概要	様式
情報科学高校 【指定校】	教育利用	①生成AI活用スタートアップ講座	B-1
情報科学高校 【指定校】	教育利用	②生成AIステップアップ講座	B-2
情報科学高校 【指定校】	校務利用	③生成AIファーストステップ研修（全職員対象）	B-3
情報科学高校 【指定校】	教育利用	④個別最適を目指した生成AIによるプレゼン技術の向上	B-4
情報科学高校 【指定校】	教育利用	⑤ロボットを活用した生成AI学習	B-5

<教育利用> ① 生成AI活用スタートアップ講座

<目的> 生成AIについて知る

<対象> デジタル創造科(情報科 1年 80名)

生成AI(ChatGPT)を知る講座。この講座ではChatGPTの基礎や、そのメリット・デメリット、それらを有効に活用する方法について学んだ。繰返しの質問から、検索との違いや会話として成立していることを体験。より詳細な情報を提供することで、自分の目的とする情報はもちろん、新たな情報を引き出すことを学習。また、情報の正確性を確認することの大切さを理解した。成果物として、大分県の魅力を伝えるHPをグループで作成することに挑戦。短時間で効率よく作れることに生徒はその効果を感じていた。

<生徒の感想>

「ChatGPTと会話することで、アイデアが膨らむ。」

「情報をすべて信じるのではなく、必ず確認することが大事」



<教育利用> ② 生成AIステップアップ講座

<目的> (前半) AIへの理解を深める

(後半) 「考える」と「伝える」で深層学習を理解

<対象> デジタル創造科(情報科 1年 80名)

(前半 3H) 画像生成AIと対話型生成AIを体験。また特徴検出や法則発見、さらには誤検出と検出漏れや深層学習についても学ぶ。

(後半 3H) 「考える」と「伝える」をテーマに、「思いつき」を「考え」に昇格させるために必要な要素や「伝える」上で必要な要素を公式に当てはめながらクイズ形式で学習。深層学習につながることを意識して、AIが正しい判断を導けるように偏った情報(データ)を与えないことが大切であることを学んだ。

<生徒の感想>

「AIはもっと遠い話だと思っていたが、活用できる身近なものだと知ることができた」



<校務利用> ③ 生成AIファーストステップ研修（全職員対象）

<目的>

プロンプトの重要性を理解する

<対象>全職員（60名）

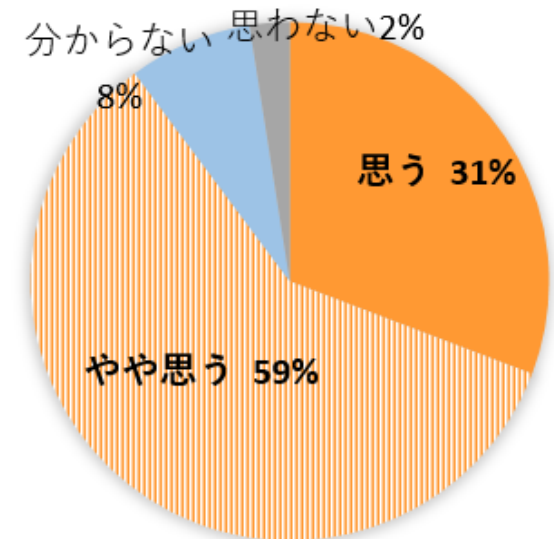
生成AIはこれからの教育に確実に必要なものとして、全先生が研修を受講。生徒一人一人を伸ばすための授業での利活用はもちろん、業務改善など生成AIの効果的な活用場面やその方法について学ぶ。特にプロンプトの作成方法について具体的に知ることができた。この後、国語、数学、英語の普通教科や工業技術基礎、情報テクノロジー、情報産業と社会など専門教科でも授業で活用される。

<先生の感想>

「ChatGPTを活用するために必要なものが何か明確に理解できた」「プロンプトという言葉は初めて聞いた。これまでの使い方とは全く異なるものであった」「これまでの業務を精選・発展していく可能性を感じた研修であった。」



生成AIを教材研究に活用したいと思うか



<教育利用> ④ 個別最適を目指した生成AIによるプレゼン技術の向上

<目的> 生成AIでプレゼン技術向上

<対象> 全科（1年 161名）

総合的な探究の時間において、アイデアの創出の手助けをしたり、プレゼン資料の構成を考えたり、セリフのチェックをしたりなど、プレゼンそのものの作成において活用。事前にプロンプトの作り方の講座を受講したため、プロンプトの作り方にもひと工夫が見られた。

<生徒の感想>

「グループであまり意見が出なくなった時に、ChatGPTのアイデアから膨らませることができた」

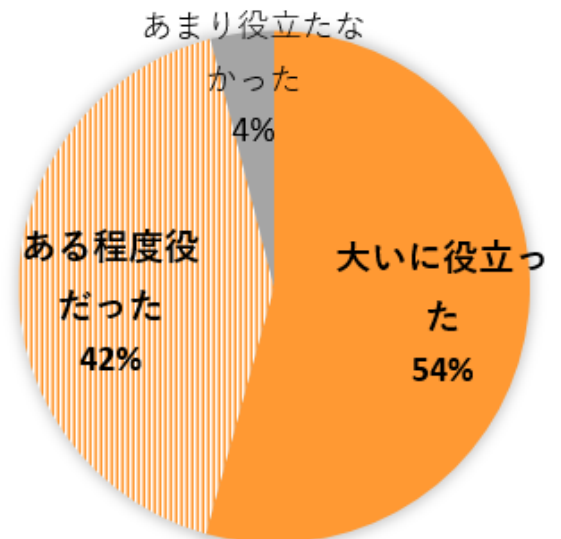
「プレゼンの構成を悩んでいた時に、細かくアドバイスしてくれて役に立った。」

「自分たちの思い描く理想のプレゼンに限りなく近づけるために、具体的な指示を出し続けて改善を重ね、実現できるようにしたい」

「全てを任せるだけではなく、1つの意見として取り入れてうまく活用していきたい。」



授業の中で生成AIが役立ったか



<教育利用> ⑤ ロボットを活用した生成AI学習

<目的> プロンプトの作り方を学ぶ

<対象> AIテクノロジー科（1年 40名）

プロンプトの作り方をロボットで体験。ハルシネーションなどを理解し、生成AI(ChatGPT)をうまく活用するための授業。本校職員による実践。どのような場面での活用が可能か具体的なシーンをグループワークをしながら、ロボットとの対話によりプロンプトの作成方法を学ぶ。

<生徒のアイデア>

「保健室を利用する前に症状を聞いたら答えてくれる」

「ごみの分別を判断してくれる」

<生徒の感想>

「間違った回答が返ってくるのは、プロンプトの作り方にも原因があるのだと理解ができた」

